

シーニック洞くつ ネイチャーアドベンチャー

マリー ラロス
(705) 444-8230
Fax: (705) 444-8219
mlarose@sceniccaves.com

洞くつ

自分で歩くシーニック洞穴ツアーのハイライト

天然の冷蔵庫: 氷洞からの安定した冷気の流れが、夏の間、天然の冷蔵庫の気温を約4℃に保ちます。この地に住んでいた初期の先住民にとって食物を保存する最適の場所でした。

氷洞: 氷洞のなかを進むにつれ、徐々に変化する洞くつ内の温度を感じる事ができるでしょう。6月末まで雪と氷が残っています。

シグナルポイント: 海拔550メートルに位置し、約10,000平方キロメートルに及ぶこの地の眺めは壮大です。クリスチャン島、ワサガビーチ、コリングウッドやバリーからはのろしを見ることができます。写真撮影には絶好の場所です。

インディアンの会議室: ペツンの酋長たちはこの岩層で部族の会議を開きました。ここは、自然が人々の安全を確保してくれた空間です。プライベートな会議が邪魔されないように丸太を橋としてつかい対岸に渡り、渡りきったらその丸太を持って会議に行きました。

イカレニヨンデ(Ekarenniondi): ペツンの有名な立石。ここは、死者が魂の村へ旅立つときにオスコタラシ(Oscotarach) (ピアース酋長) が死者の頭から脳を取り出した場所です。この儀式により、死者の魂が現世の生活を忘れて来世でより幸せになれる、と信じられていました。

太った人の苦難: 身をよじって辛うじて通り抜けるか、岩の上を乗り越えるか。一番狭いところはわずか36センチメートルです。

シダの洞くつ: エキゾチックなメイデンヘア シダ(Maidenhair)をはじめとする非常に珍しいシダやコケが育っています。

牧師の説教壇: 氷河期の氷の変動により、この洞くつの壁が分離したと考えられています。右側の壁は石灰石、左の壁で黒い部分は酸化鉄です。

ペツンアーチ: 敵に罠をしかけるために一部の土地を封じた時、この入り口はペツンの人々にとって簡単に見張りができる空間になりました。

ペツンの要塞: コンパスの各方角に出口が4ヶ所あるのは、唯一ここだけです。この天然の要塞により、侵入者が部族を待ち伏せし、攻撃することをほぼ完全に封じることができました。

熊の洞くつ: 初期の入植者たちは、月の輪熊がここで冬眠すると信じていました。

吊り岩: 下を見ると床面の壁の間が上部より大きいことに気がつくでしょう。何が吊り岩を支えているのでしょうか？

吊合い岩と長石: 石灰石の自然がつくりあげたふたつの岩が、何千年もの地質と人間の歴史をこだまのように響き渡らせています。